

Press Release

2006 年 10 月 19 日

板金工場竣工のお知らせ

このたび弊社は、伊賀事業所(三重県伊賀市)内に板金工場を建設いたしました。今まで伊賀加工工場(第一工場)内の一角を、板金製作用のスペースとしておりましたが、内製規模の拡大を図るために、このたび新規に板金専用工場を建設した次第です。

当工場では設計からの 3 次元データをもとに、板金展開システムでプログラムを自動作成し、タレットパンチプレスと自動曲げ機で加工することができる、最新鋭の設備を用いております。

新工場稼働前と比べ、加工能力を 5 倍、塗装能力を 8 倍に増強しました。これにより、今までは制御盤の筐体部の板金作成を主に行っていたものを、今後はさらに、本体のカバー部の板金作成に力を入れていきます。機械本体カバーの 3 割強を当工場にて内製する予定です。

また、当工場の本格稼働により、納期も短くなります。弊社内でのテストの結果、今まで 1 週間かかっていた制御盤筐体部の板金加工を 3 日間に短縮できます。

弊社では Mori-568PLAN の Mori-8 の中で、月産 800 台体制を目標としております。この増産に対応するため、従来からの優良な板金のサプライヤからの購入に加えて、自社内における板金工場での生産を行うことといたします。

板金工場の延床面積は 5,170 m²(1,564 坪)です。

建物の建設費用に 10 億円、新規設備導入に 10 億円、計 20 億円を要しました。

10 月 16 日に施工者の皆様と、弊社社員にて竣工式を執り行いました。いよいよ本格稼働いたします。

このたびの板金の内製強化により、QCD の飛躍的向上を図ります。現在の好調な受注に応えるべく、内製化の進展により原価率を下げ(Mori-6)、また短納期化により生産に貢献します(Mori-8)。

